Aggregate/Fire resistance

座長:佐川孝広(土木),小島正朗(建築)

Wed. Jun 26, 2024 1:00 PM - 3:00 PM Room 3 (第1・2会議室)

[1011]The Report on Factors Affecting The Quality of Granulated Recycled Aggregate

Tatsuya SAITO[1], Takayoshi FUNAO[2], Iwao MIMOTO[3], Akio KOYAMA[4] (1.建材試験センター 2.大阪兵庫生コンクリート工業組合 3.内山アドバンス 4.明治大学)

Keywords: 粒状化再生骨材、骨材の品質、密度、吸水率、微粒分量、粗粒率

粒状化再生骨材の密度，吸水率，微粒分量および粗粒率に影響を及ぼす要因を把握するため，製造時に混入する洗い水，粒状化再生骨材の試験材齢，撹拌方法，原コンクリートの配合および粒状化材料の種類を変数として検討した。その結果，粒状化再生骨材の品質の変化は，撹拌方法の違いによる影響が顕著であり，細骨材はアジテータ車で撹拌した場合，重機で撹拌する場合よりも絶乾密度は大きく，吸水率は小さくなる傾向となった。粗骨材は，細骨材とは反対で，アジテータ車撹拌の場合，重機撹拌よりも絶乾密度は小さく，吸水率は大きくなる傾向となった。

©Japan Concrete Institute